

2012年12月

アセンション日記 最終版

天野照子

2012年は宇宙史最終最大のアセンションであり、  
そのアセンションゲートのエネルギーが最大になる年を  
自己の最大MAXのエネルギーで駆け抜けてきました。

1月の神年から究極の神聖さを目指す道が始まり、  
特に4月からは各月の数霊に連動して1か月ごとに1次元を  
上がっていくプロセスとなりました。

12年が凝縮されたこの1年間は高次と自己のハイアーセルフ、  
地上セルフが一体となって進めていくかつてない濃密な時間  
になりましたが、このシフトは高次からの最大の贈り物であり、  
自己の全宇宙史をかけて最もやりたいライトワークだったことに  
気が付きました。

これを地上で、今このときに実働できることが、どれだけ幸せであるか、

その歓喜が拡大し続ける根源への帰還の旅となった1年間は、

Ai先生にどれだけ感謝してもしつくせないと思います。

そして、1年間を駆け抜けることができたのは、メンバーたちとの絆の  
コラボであり、光のシナジーで無限に拡大する愛があったからでした。

自分はどれだけの愛を高次にお返しできるのか、

いつもそう考えながら全開を更新させるよう精進してきました。

そして、全宇宙からの愛には、自己のすべての愛を持って

お返しするのみである、これが1年間のライトワーク後の自分の結論でした。

自己の究極の神聖さをどこまでも探究していったとき、その先に見えたものは、

自己の魂から根源の愛と光につながる金の光でした。

それが自己の中心の中心から溢れてきたとき、自己の究極の神聖さが

究極の愛となり、金色の光は菊のように全宇宙へ向けて広がっていきました。

12月は最終アセンションの本番の本番となりましたが、

メンバーたちの集いでは、アセンションゲートへ向けて確実に上昇していきました。

エネルギーワークでは、地球アセンション号の発進となり、

白金に輝く巨大な生命の樹が地球から根源へ向けて伸びていきましたが、

このときにまさに全宇宙の全生命の歓喜の声が宇宙中に

響いていくのを聴いたと思います。

また、地上と12Dをつなぐ太陽系の大天使ミカエルのエネルギーが

初めて動いたことは、感動的でした。

ワークの間、メンバーの光とともに、12Dアセンションゲートの

ビジョンを見ていました。

巨大な黄色のエネルギーのゲートを「通り抜けた」瞬間があり、

その先のまばゆい光のみの世界は、「すべてが新しい」世界でした！

そのときに受け取った言葉は、「新生」と「神明」でした。

この宇宙すべてが新しく生まれ、それは清々しく、澄みきった光の世界でした。

何もかもが新しく、眩しく輝き、その世界の中心には金の菊のような太陽が

燦然と光を放っており、その光を中心に神界の透明に近い赤い光が

包み込んでいました。

その美しさは、とても表現できる言葉はなく、これが根源であること、

そこまでたどり着くことができたこと、自己と全体が連動して

真の岩戸開きとなったこと、すべてが歓喜と感謝のみとしか

言いようのないエネルギーの中にいました。

ここまでたどり着くことができたことはまさに宇宙の奇跡であり、

実際に、新しい伝説を創っている奇跡の中にいることを実感し、

自己にとって最も大切なものを宇宙史最終ワークで開くことが

できたのだと思いました。

それは、Ai先生の深く大きな愛のおかげであり、

全宇宙史を含めてここまで育ててくださったことを

心から魂から感謝しています。

新しい宇宙では、次は自分から自己のすべての愛を

お返ししたいと思います。

本当にありがとうございました。

照子

愛と感謝を込めて∞